

## 第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	あい保育園高田東
経営主体(法人等)	株式会社 アイグラン
対象サービス	児童分野 保育所
事業所住所等	〒223-0065 横浜市港北区高田東4-23-17
設立年月日	平成26年4月1日
評価実施期間	令和元年5月 ～ 令和元年12月
公表年月	令和 2年 1月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
<b>総合評価（事業所の特色や努力、工夫していること、事業者が課題と考えていること等）</b>	
<p><b>【施設の立地・特徴】</b></p> <p>・立地および施設の概要</p> <p>「あい保育園高田東」は、平成26年4月に開園しました。横浜市営地下鉄グリーンライン高田駅より徒歩2分の、住宅地にあります。園舎は鉄筋コンクリート造り3階建てで、屋上を園庭としています。0～5歳児定員90名で、現在88名が在籍しています。近隣に、交番、消防署があります。周辺に、川沿いの散歩道、大小様々な公園があり戸外活動に利用しています。</p> <p>設置法人は広島県に本社を持つ、株式会社アイグランで、全国で保育事業を展開しています。横浜市内には当園のほか、金沢区に「あい保育園富岡東」があります。</p> <p>・園の特徴</p> <p>設置法人統一理念は、「私たちは子ども達に『自分の夢を自分の力で実現できる人』になってほしいと願っています」としています。園独自の園目標を「自ら主体的に挑戦し、何事も楽しんで行動できる子」としています。子どもが楽しめるイベントの実施、リトミック、体操教室のプログラムや地域に向けての子育て支援や交流の取り組みなどを積極的に行っています。</p> <p><b>【特に優れていると思われる点】</b></p> <p>1. <b>さまざまな体験を通して子どもたちの興味、探求心を培う保育活動</b></p> <p>子どもたちがさまざまな体験を友達や職員と一緒に楽しむとともに、色々なことに興味を持ち積極的に物事に取り組むことができるよう、保育活動を工夫しています。</p> <p>散歩や戸外活動を積極的に行い、近隣の公園や、遠足でズーラシア、日本丸メモリアルパークなどに出かけています。鶴見区の人形劇団体公演の人形劇を定期的に見に行っています。年長児は近隣の商店に買い物に行ったり、高田地域ケアプラザでの野菜販売会に出かけたり、高齢者施設に行き、歌を歌ったりして交流するなど、地域に暮らす様々な人々と関わり、地域に親しみが持てるようにしています。</p> <p>園内の活動では、週1回幼児クラスでは縦割り保育の時間があり、栽培や製作を一緒にしています。食育活動で、季節の野菜を栽培したり、ジャムづくり、手作り中華麺などのクッキングを楽しんでいます。また毎月、絵本に出てくる料理を給食として提供する「絵本献立」（例：「ばばあちゃんのおこのみやき」の絵本から「お好み焼き」）があります。専門講師によるリトミックや体操のプログラムで、友達や職員と一緒に身体を動かすのを楽しんでいます。</p> <p>地域の文化や風土に関連した紙芝居を作っているグループが来園し、郷土をテーマにした本の読み聞かせや紙芝居をしてもらっています。また粘土細工や折り紙の講師、えんぴつの使い方の講師に来てもらったり、食品会社のマスコットキャラクターが来たり、マジックショーを観覧する機会もありました。</p>	

## 2. 積極的な地域子育て支援への取り組み

高田地区の子育てネットワーク会議や、高田地区園長会、高田地域ケアプラザ、NPO法人横浜たかたネットワークなどと連携し、子育て支援ニーズを把握するとともに、高田地区のイベント「たかたんこどもまつり」に職員を派遣し、紙芝居や絵本の読み聞かせなどを行っています。園では、今年度から、毎月、地域の子育て世帯向けに「歯科講座」「腰痛予防」「肩こり講座」「親子ヨガ」「親子英語」など、親子で楽しみながら学べる講座を開催し、喜ばれています。また、地域の未就園児の一時保育も積極的に実施しています。定期的に身長体重測定の日を設け、地域の親子が自由に参加でき、常時15組程度の利用があります。講習の日や身長体重測定の日には、職員と気楽に子育てについての相談や話をするほか、参加者同士がお互いの「子育ての悩み」を話し合ったりするなど、地域の子育て世帯の交流の場ともなっています。

## 3. ケガや事故からこどもの安全を守るための取り組み

前年度に受診を要するようなケガが多く発生していたところから、前年度の秋以降に「ヨクナル」という名称の記録用紙を事務所入口に置き、職員は発生した時や気づいたときに記入するようにしています。「ヨクナル」には、日付、場所、時間、内容（ケガ、ヒヤリハット、意見、要望など）、結果と経過、改善、報告者、対応職員の各欄があり、状況や改善点がすぐに分かるような書式となっています。看護師が1か月分を集計・分析をして報告書「ヨクナル通信」を作成し、職員に職員会議で説明しています。「ヨクナル通信」は、ケガやヒヤリハットについて、場所や時間帯、曜日、内容の報告と、特に注意すべき事例も記載しています。職員個々が、その時々状況や対応に気づくことができるようになり、また職員間で共有することにより、今年度は受診を要するようなケガや事故は大幅に減少しています。

### 【特に改善や工夫などを期待したい点】

#### 1. 体系的な個別研修計画の策定

園内研修、園外研修、国のキャリアパス制度に基づくキャリアアップ研修などを計画的に実施していますが、職員個々の目標設定や振り返りを踏まえた個別研修計画は作成されていません。キャリアパスを見据え、職員の経験、習熟度に応じた体系的な年間個別研修計画を作成し、実施していくことが期待されます。

#### 2. 定期的な育児相談の実施と地域への周知

育児相談は見学時や一時保育利用、イベントの際に受けていますが、曜日や時間を決めてはいません。地域の保護者が育児相談しやすいように、受付時間や曜日を定め、さまざまな媒体などで相談できることを周知することが期待されます。

#### 3. 園と保護者との相互理解を深める更なる工夫を

園の運営や保育内容、行事などについて保護者の意見を聞く機会がありますが、継続的な話し合いや、保護者が十分に理解できるような説明は不十分な面があります。

家族アンケート結果では、「園の基本理念・保育方針の認知度」は約55%の水準にとどまっています。また、「送迎の際の子どもの様子に関する説明」については「不満」「どちらかといえば不満」の回答が合わせて35%となっています。

園と保護者との相互理解を深める更なる工夫と改善が期待されます。

### 評価領域ごとの特記事項

#### 1. 人権の尊重

・「私たちは子ども達に『自分の夢を自分の力で実現できる人』になって欲しいと願っています」を保育理念とし、保育方針「自主性を育てます」「個性を大切にします」「思いやりの気持ちが育つ、『心の基地』をめざします」「自然との触れ合いを大切にします」は利用者本人を尊重したものになっています。

・食物アレルギー、発達の違い、障がいなど特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。個別のケースについて、職員会議、昼礼などで報告、検討して議

	<p>事録に残しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待が疑わしい場合や見守りが必要な場合は、各会議や昼礼で報告しています。食事の様子や身体状況を観察し、明白になった場合は、港北区、都筑区こども家庭支援課、横浜市北部児童相談所に連絡する体制となっています。家庭支援が必要と思われる場合は、職員がそれとなく声かけしたり、保育園の休みが続くときなどに、電話連絡を入れたりしています。</li> <li>・個人情報マニュアルは「あい保育園高田東マニュアル」の中にあり、園長は職員に入職時に説明し、周知しています。重要事項説明書に個人情報の取り扱いについて明記し、入園時に説明し、保護者が撮影する映像の取り扱いについてもプライバシーに配慮してほしいことをお願いしています。</li> </ul>
<p>2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが主体的に遊べるようにおもちゃや絵本は子どもが取り出せるような高さの棚や箱に置かれ、自由に遊べるようになっています。子どもの年齢や発達に合わせて、いろいろなおもちゃを用意し、室内遊びの時間では子どもの興味に合わせていくつかのコーナーを作っています。</li> <li>・天気の良い日は、ほぼ毎日、屋上園庭や公園に出かけ、子どもの興味や関心、年齢に応じて公園を決め、ドッジボールや鬼ごっこなどをし、みんなで一緒に遊ぶ楽しさとともにルールを守ることの大切さがわかるようにしています。</li> <li>・0歳児においては子どもの表情や仕草をよく見て、子どもの伝えようとする思いや意向を汲み取るようにし、職員は喃語にも言葉で応答したり、スキンシップをとるなど、ゆったり関わるようにしています。</li> <li>・1歳以上3歳未満児の保育においては、着替えや靴の着脱、手洗い、排泄、食事、ものを片づけたり、後始末など基本的な生活習慣についても自分でやりたい気持ちを大切にし、時間がかかっても見守りや助言をしています。</li> <li>・3歳児の保育においては、自分の興味を持った遊びや活動ができるように、コーナーやスペースを作り、それぞれ興味を持った遊びができるように、おもちゃ、教材、素材を十分用意しています。</li> <li>・4歳児の保育においては、友達と一緒に、遊びや活動を楽しんだり、自信を持って行動できるよう職員が声かけをしたりしています。友達と一緒に楽しめるように、遊びや活動のルールを守ることを伝えています。</li> <li>・5歳児の保育においては、友達と協力しあって一緒に製作物を作ったり、ルールのある遊びを楽しんだりしています。日常の中で、お互いに意見を言い合ったり、自分の思いを伝えられるようにしています。</li> <li>・献立は栄養士が作成し、旬の食材を使い、味付け、切り方に工夫をしています。絵本献立を月1回提供し、「かえるとカレーライス」からカレーライスや「ばばばあちゃんのお好み焼き」からお好み焼きなどを提供しています。</li> <li>・職員は子どもの好き嫌いやその日の体調を把握し、子どもの苦手なものは子どもの申し出で減らし、一口でも食べることができるよう支援しています。苦手な食材を食べたときには、ほめて食べる意欲を育てています。</li> </ul>


	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスに園児の名前が書かれた「保育メモ」が置かれ、送迎時に聞き取った子どもに関することを記載し、また保護者に伝えたいことを記載して引き継ぎを行ない、保護者に伝えた担当者は名前を書いて、伝え漏れを防いでいます。</li> <li>・0～2歳児は毎日個別連絡ノートで、園での様子、家庭での様子、諸連絡などを保護者とやりとりし、幼児クラスでも各自連絡帳を用意し、保護者と情報を交換しています。</li> </ul>
<p><b>3.サービスマネジメントシステムの確立</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な計画に基づき、年齢ごとにクラス担当職員が話し合い、年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています。栄養士が食育計画、看護師が保健指導計画を作成しています。</li> <li>・理解できる子どもには、必要なことは、年齢に感じ分かりやすい言葉でゆっくり説明し、次の予定などを前もって伝えていきます。時計の文字盤、イラスト、絵などを利用し、目でも確認できるようにしています。無理強いしたり、せかしたりして行動させることはありません。</li> <li>・入園前に親子での面談を行い、入園時に保護者が記入した「児童票」「健康台帳」と面談時の「面談シート」により、生育歴や家庭状況を把握し、日々の保育に生かしています。短縮保育について、入園前面談で保護者に説明し、めやすは2週間とし、各家庭の都合を考慮しています。</li> <li>・3歳未満児について、毎月個別指導計画を作成し、3歳以上児でも、特別な課題や配慮が必要な場合は個別指導計画を作成しています。</li> <li>・個別の「児童票」「健康台帳」「面談記録」に子どもや家庭の状況を記録しています。身長・体重は毎月計測後「健康台帳」に記録し、発達や成長の記録は「連絡ノート」や個別の児童票（発達記録）に0～2歳児は毎月、3歳児以上は3か月ごとに記録しています。</li> <li>・健康管理、衛生管理、感染症対策などに関する各種マニュアルに基づいて子どもの健康状態の把握や健康診断・歯科健診の実施や感染症対策などを行っています。</li> <li>・安全管理マニュアルに基づいて、乳幼児突然死症候群（SIDS）予防対策、アレルギー対策、調理での食中毒予防などを行っています。毎月地震や火災のなどの様々な想定で防災訓練を行っています。</li> <li>・職員はケガやヒヤリハットなどが発生したときや気づいたとき「ヨクナル」に発生場所や、時間帯、内容、結果、改善内容などを記入し、毎月、看護師が「ヨクナル通信」としてまとめ、職員会議で報告し、再発防止策を検討し、改善策が実行しています。</li> </ul>
<p><b>4.地域との交流・連携</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園のパンフレットや設置法人のホームページで園の情報を提供しています。利用希望者にはパンフレットや重要事項説明書に基づいて保育園の基本方針や利用条件・保育内容について、説明しています。</li> <li>・毎月、地域の保護者や子どもに向けてイベントを行い、「腰痛予防」「歯科講座」「肩こり講座」「親子ヨガ」などを開催しています。地域の親子に園での身長体重測定や歯科健診に参加してもらっています。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の保育園と年長児の交流会を年2、3回持ち、ドッジボール大会を行い、交流を図っています。</li> </ul>
<p><b>5.運営上の透明性の確保と継続性</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が守るべき法・倫理・規範などは就業規則と「あい保育園高田東マニュアル」に明記しています。職員は「あい保育園高田東マニュアル」を所持し、会議、打ち合わせ時には必ず持参し周知しています。園長が折りに触れ、保育理念や保育方針について話し、職員は定期的に「あい保育園高田東マニュアル」をチェックしています。</li> <li>・保育理念、運営方針を玄関内に掲示し、「重要事項説明書」「全体的な計画」に明記し、職員は朝礼、職員会議で確認しています</li> <li>・職員は年2回園長と面談し、状況の確認や、今後の見通しなど話し合っています。また「自己評価チェックリスト」を使って、評価反省を行っています。</li> <li>・保育園の重要な改善課題や新たな取り組みなどについて、職員会議、担当者会議、昼礼で話し合い、保育所全体で取り組んでいます。年度末に園全体の自己評価を実施し、次年度の課題を明確にし、園内研修や担当者会議で、保育の質の向上に向け取り組んでいます。</li> </ul>
<p><b>6.職員の資質向上の促進</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は園運営に必要な人材や配置状況を把握し、担任、役割分担を決め、加配が必要な場合などは設置法人に伝え、人材補充を行っています。</li> <li>・設置法人策定の人材育成計画があり、その中に保育士として身に付けたい社会性、専門能力などが「新任保育士」「3年保育士(3～4年目)」「5年保育士」「10年保育士」の段階に応じて明確に示されています。</li> <li>・毎月、常勤職員に向けて「アレルギー対応」「感染症対応」「危機管理」「チームカアップ」などのテーマを決めて内部研修を実施しています。非常勤職員は感染症対応やノロウイルス消毒手順などの説明を受けています。各研修について、無記名でのアンケートを取り、次期の計画に反映しています。</li> <li>・職員は希望する横浜市主催、港北区主催、保育専門講師による外部研修に参加しています。研修受講後、研修報告書を作成し、職員会議、昼礼、担当者会議で報告をし、職員間で共有しています。</li> </ul>



## 評価機関による評価


令和元年 11 月 30 日




### 事業所名 あい保育園高田東

 3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

#### 評価領域 I 子ども本人の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>I - 1</b> 保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人統一の保育理念は「私たちは子ども達に『自分の夢を自分の力で実現できる人』になって欲しいと願っています」としています。運営理念は「家庭での子育てに近い保育を目指し、『安心して子どもを預けられる保育園』作りに努めます」「一人ひとりの育ちを見守り、保障し、保護者に寄り添いながらより良い家庭関係を築き、『子育ては楽しいもの』と思えるよう支援します」としています。保育方針は「自主性を育てます」「個性を大切にします」「思いやりの気持ちが育つ、『心の基地』をめざします」「自然との触れ合いを大切にします」としています。いずれも、子どもを尊重したものとなっています。</li> <li>・保育理念、運営方針は玄関内に掲示しています。「重要事項説明書」「全体的な計画」に明記しています。朝礼・昼礼（不定期開催）、職員会議（月1回）などで、職員間で確認しています。</li> <li>・全体的な計画は、「地域の実態に対応した保育事業と行事への参加」「子育て支援」の項目を設け、地域の実態に考慮した内容を記述したものとなっています。また「入所する子どもの保護者に対し、その意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮」とすると、全体的な計画に明記しています。全体的な計画は、園長と主任で作成しましたが、職員間での話し合いなどの機会は持てませんでした。</li> <li>・全体的な計画に基づき、年齢ごとにクラス担当職員が話し合い、年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています。栄養士が食育計画、看護師が保健指導計画を作成しています。</li> <li>・子どもの様子、クラスの状態を見ながら、子どもが興味を持っていることや、好きな遊びを、取り入れるなどし、計画には柔軟性を持たせています。</li> </ul> <コメント・提言> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な計画の作成や見直し、修正などについて職員間で話し合うことが期待されます。</li> </ul>
<b>I - 2</b> 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園前に親子での面談を行っています。面談する職員は、園長、主任、担当予定職員が行い、場合により調理担当職員も面談しています。0歳児は看護師も同席しています。面談時に親子の様子や関わり方を観察しています。</li> <li>・入園時に、前もって保護者が記入した「児童票」「健康台帳」と面談時の「面談シート」により、生育歴や家庭状況を把握しています。</li> <li>・短縮保育について、入園前面談で保護者に説明しています。めやすは2週間としていますが、各家庭の都合を考慮しています。特に0、1歳児は、1時間から始め、様子を見ながら、徐々に個別に時間を調整しています。</li> <li>・0～2歳児クラスは毎日個別連絡ノートで、園での様子、家庭での様子、諸連絡などを保護者とやりとりしています。0歳児クラスでは時系列で、睡眠、検温、食事、排泄を記載しています。</li> <li>・年齢ごとの指導計画を作成しています。年間指導計画は4期に分けています。月間指導計画は毎月クラス担当職員間で話し合い、作成と見直しをしています。指導計画の評価、改定は担任間で話し合うほか、乳児会議（0～2歳児）幼児会議（3～5歳児）、昼礼で、報告と検討をしています。</li> </ul> <乳児保育（0歳児）において>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの表情や仕草をよく見て、子どもの伝えようとする思いや意向を汲み取るようにしています。職員は喃語にも言葉で応答したり、スキンシップをとるなど、ゆったり関わるようにしています。</li> <li>・一人一人の生活パターンやその日の体調を、家庭と連携して把握し、様子を見ながら食事や排泄、睡眠などの時間を配慮しています。</li> <li>・一人一人の、はう、立つ、歩くなどの時期に応じて安全面に配慮して低い棚、仕切りなどを置いたり、活動の場を広く使ったりなど環境設定をしています。屋内では、ジャングルジムや屋内用滑り台、スロープを使って遊んだり、屋上園庭で遊んだり、階段の上り下りで体を動かしています。</li> <li>・肌ざわりの良い布製おもちゃ、ぬいぐるみ、音が出るおもちゃ、手指を使うおもちゃ、絵本類、ペットボトルや牛乳パックを利用して作った手作りおもちゃなどを用意しています。興味や好奇心に応じて手が届く棚に準備しています。</li> </ul> <p>&lt;1歳以上3歳未満児の保育において&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人のやりたい気持ちや思いを受け止め、無理にやめさせたり制限したりしていません。着替えや靴の着脱、手洗い、排泄、食事、ものを片づけたり後始末など基本的な生活習慣についても自分でやりたい気持ちを大切に、時間がかかっても見守りや助言をしています。自分で使用済みのおむつをごみ箱に入れたり、着替えの袋をロッカーにしまったりしています。手助けが必要な場合には声かけや援助をしています。</li> <li>・室内では、ままごと、ブロック、車、電車、洗濯ばさみを利用した手作りおもちゃ、絵本を見る、パズル、お絵かきなど自分の興味を持った遊びができるように机やコーナー、敷物などを使い環境を整えています。園庭では固定遊具やかっこで遊んだり、散歩で近隣の様々な公園に出かけています。</li> <li>・友達との関わりには、職員は「一緒に～してみよう」「仲間に入れてね」「おもちゃ、次に貸してもらえるか聞いてみようね」など声かけしたり、子どもの気持ちを代弁したりしています。子どもと一緒に遊んだり、楽しく一緒に活動できるよう対応しています。</li> </ul> <p>&lt;3歳以上児の保育において&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭や戸外遊びで十分体を使っています。専門講師によるリトミックや体操教室が定期的に行われています。「掃除の日」が月に1回、月初めにあり、雑巾がけやロッカー、下駄箱の掃除などで日常的に体を動かしています。</li> <li>・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について、指導計画と見合わせながら、どのようなねらいや活動があてはまっていたのか職員間で確認し合っています。</li> </ul> <p>&lt;3歳児の保育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の興味を持った遊びや活動ができるように、コーナーやスペースを作っています。おもちゃ、教材、素材を十分用意しています。</li> </ul> <p>&lt;4歳児の保育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に、遊びや活動を楽しんだり、自信を持って行動できるよう職員が声かけをしたりしています。友達と一緒に楽しめるように、遊びや活動のルールを守ることを伝えています。</li> </ul> <p>&lt;5歳児の保育&gt;</p> <p>友達と協力しあって一緒に製作物を作ったり、ルールのある遊びを楽しんだりしています。日常の中で、お互いに意見を言い合ったり、自分の思いを伝えられるようにしています。</p>
<p><b>I-3</b>  <b>快適な施設環境の確保</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「衛生管理マニュアル」があり、清掃担当職員が毎日園内外の清掃を行っています。0歳児クラスのおもちゃ類は週に一度、消毒をしています。</li> <li>・毎日、室温・湿度を測定し保育日誌に記録しています。</li> <li>・保育室はガラス扉・窓が大きく、できるだけ陽光を取り入れるようにしています。</li> <li>・加湿器、空気清浄機、扇風機、24時間換気扇がありますが、機器の不具合もあり、夏場は換気が不十分でにおいが気になる場合があります。機器の修理・整備を進めているところです。</li> <li>・楽器や音楽CD、BGMなどの音の大きさに留意しています。職員は自分自身の</li> </ul>



	<p>声や子どもの声のトーンなどに気をつけていますが、どうしても大きくなってしまいうこともあり、不十分な面があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事、活動、午睡など機能別の空間を確保しています。低年齢児クラスでは活動の場と食事の場などの区別をしていますが、小集団での保育が行われるような使い方はしていません。</li> <li>・朝夕合同保育時間帯での保育室や園行事などでは、保育室間の仕切り壁を外して広く使い、異年齢で交流しています。3～5歳児は週に1回縦割り異年齢保育を行っており、保育室で合同で製作をしたり、一緒に活動をする機会を作っています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器の修理を進め、換気が適切にできることが期待されます。</li> <li>・音楽や保育者の声の大きさなどに配慮することが期待されます。</li> <li>・低年齢児では、何人かずつの小集団で落ち着ける場を作ったり、天井を低く感じられるようにしたり、間仕切りなどで過ごしやすい工夫などが期待されます。</li> </ul>
<p><b>I-4</b> 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満児について、毎月個別指導計画を作成しています。3歳以上児でも、特別な課題や配慮が必要な場合は個別指導計画を作成しています。</li> <li>・個別の目標・計画はクラス担当で話し合い、毎月見直しています。職員会議内のカリキュラム会議、乳児（0～2歳児）会議、幼児（3～5歳児）会議、昼礼で、子どもの状況を話し合い、柔軟に計画を見直しています。</li> <li>・個別の「児童票」「健康台帳」「面談記録」は事務室の書棚に保管しており、職員はいつでも事務室内で確認できます。</li> <li>・進級時は、「児童票」「面談記録」をもとに、クラス担任と次年度担当間で引き継ぎをしています。また乳児（0～2歳児クラス）会議・幼児（3～5歳児クラス）会議や昼礼においても報告しています。</li> <li>・保育所児童保育要録は年長児担当職員が記載し、園長が確認後、就学予定校へ郵送しています。また小学校職員が来園し、引き継ぎをおこなっています。</li> </ul>
<p><b>I-5</b> 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギー、発達の遅れ、障がいなど特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。</li> <li>・横浜市や港北区主催の、アレルギー、障がいに関するテーマの外部研修に参加しています。横浜市総合リハビリテーションセンターの巡回相談での助言や、保育に生かせる点を、職員会議や昼礼で伝えています。</li> <li>・「虐待対応マニュアル」「虐待防止チェック表」があります。保育や業務の各マニュアルを分かりやすくまとめた「あい保育園高田東マニュアル」があり、会議、打ち合わせには職員が必ず持参することになっています。また「あい保育園高田東マニュアル」は3か月ごとに自己チェックをすることになっています。</li> <li>・虐待が明白になった場合は港北区、都筑区こども家庭支援課、横浜市北部児童相談所に連絡する体制となっています。</li> <li>・疑わしい場合や見守りが必要な場合は、各会議や昼礼で、報告しています。食事の様子や身体状況を観察することにしてしています。</li> <li>・アレルギー疾患について、かかりつけ医の診断後「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」に基づき対応しています。</li> <li>・アレルギー疾患に関するマニュアルがあり、いつでも確認できます。アレルギーに関する外部研修、内部研修で知識を深めています。</li> <li>・食物アレルギーにおいては、保護者、調理担当職員、担任で定期的に面談を行い、除去食を提供しています。おやつは、代替食を提供する場合があります。専用トレイに名札を貼っています。調理室窓に「アレルギー確認表」が貼ってあり、確認の手順が明記されています。調理室からの受け渡し、配膳時に複数職員で確認をしています。食事する場所、机を設定し、職員がそばにつき、誤食防止に努めています。</li> <li>・外国籍の子どもについて生活習慣、考え方を尊重しています。食文化や食生活の違いがある場合には、個別対応をすることにしてしています。</li> </ul>
<p><b>I-6</b> 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望・苦情受付担当は主任、解決責任者は園長としています。第三者委員2名の氏名と苦情解決の流れを、「重要事項説明書」に明記しています。第三者委員2名の氏名と連絡先、苦情対応の流れのチャートを園内に掲示しています。</li> </ul>






	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情対応に関するマニュアルがあります。第三者委員を交えて対応する仕組みとなっています。</li> <li>・園独自で解決困難な場合は、港北区こども家庭支援課や横浜市こども青少年局など関係機関と連携して対応する体制になっています。</li> <li>・「苦情処理マニュアル」があり職員に周知しています。保護者からの苦情、要望などは全職員に周知し、対策を講じています。</li> <li>・苦情、要望について、「苦情受付」ファイルに記録をまとめています。職員会議、昼礼などで話し合い、対策を講じています。</li> </ul>
--	---

## 評価領域Ⅱ 保育の実施内容



評価分類	評価の理由（コメント）
<b>Ⅱ－1</b> <b>保育内容[遊び]</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが主体的に遊べるようにおもちゃや絵本は子どもが取り出せるような高さの棚や箱に置かれ、子どもが自由に遊べるようになっています。子どもの年齢や発達に合わせて、いろいろなおもちゃを用意し、室内遊びの時間では子どもの興味に合わせていくつかのコーナーを作っています。</li> <li>・0歳児クラスでは手に持って音の出るおもちゃや手づくりおもちゃ、ジャングルジムの小さいものなどを、1歳児クラスでは手作りおもちゃやひも通し、指先を使うおもちゃを用意し、2歳児クラスから机を使って粘土やパズル、お絵かきができるようにしています。</li> <li>・子どもが落ち着いて遊べるように、コーナーを作り、好きな遊びをしています。お天気の良い日は子どもたちが公園を選び、散歩に出かけ、いろいろな遊びを楽しむ時間を持っています。夏祭りでは子どもたちの意見からお神輿を作りました。</li> <li>・自由遊びの時間では保育室は少人数で落ち着いて遊べるようにコーナーに分け、ブロックやぬりえをしたり、一人で絵本を読んだり、お絵かきをしています。外遊びではままごと遊びなどを行っています。</li> <li>・リトミックやドッジボール、交通安全教室を通してみんなで一緒に遊ぶ楽しさとともにルールを守ることの大切さがわかるようにしています。</li> <li>・職員が子どもの遊びに入り、子ども一人一人が興味、関心を持って遊べるように支援しています。遊びに入れないう子には「一緒にやろうよ」と声をかけたり、他の遊びに誘っています。</li> <li>・子どもの年齢や発達状況に合わせて、週1回リトミックを取り入れ、表現活動ができるようにし、職員のピアノに合わせて自由に体で表現しています。</li> <li>・2歳児クラスから個人の道具箱に粘土、お絵かき帳をもち、数種類のブロック、積み木、ぬりえが用意され、子どもたちは自由に絵を描いたり、ぬりえをしたり、覚えた歌を歌ったり、ダンスをしたりしています。</li> <li>・子どものケンカについては、職員はそばで見守り、必要に応じて、双方の言い分を聞いて、子どもの思いを代弁して、子ども同士で解決できるように援助しています。0～2歳児のかみつきやひっかきにはケガのないように中に入り、未然に防ぐように努め、気持ちが落ち着くのを待ち、代弁しています。</li> <li>・朝夕の合同保育や日常保育でも4、5歳児で食事をしたり、一緒に自由遊びを行ったりしています。週1回縦割り保育を行い、一緒に製作したり、散歩に出かけたりして異年齢で関わりを持てるようにしています。</li> <li>・天気の良い日はほぼ毎日、屋上園庭や公園に出かけ、子どもの興味や関心、年齢に応じて公園を決め、ドッジボールや鬼ごっこ、運動会の練習などを行っています。</li> </ul>
<b>Ⅱ－1</b> <b>保育内容[生活]</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は子どもの好き嫌いやその日の体調を把握し、子どもの苦手なものは子どもの申し出で減らし、一口でも食べることができるよう支援しています。</li> <li>・当番活動を3歳児から行い、配膳を行っています。年3回食育会を行い、野菜に触ったり、おいをかいたり、野菜の話を聞いたりしています。また毎月クッキングを行いジャムやピザを作っています。テラスで夏野菜ピーマン、トマト、スイカを作り、サツマイモの苗を植えました。</li> <li>・授乳は子どものペース、生活のリズムに合わせています。抱っこして目を合わせ、</li> </ul>

	<p>やさしく言葉をかけながら行い、離乳食は、職員はのみ込みの様子や表情を見ながら、そばについて子どものペースを大切にしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・献立は栄養士が作成し、旬の食材を使い、「かえるとカレーライス」の絵本からカレーライス、「ふしぎなお客」の絵本からラーメンなど、絵本献立を月1回提供し、年1回3～5歳児でバイキングを行ったり、お友達と楽しく話しながら食事ができるように雰囲気づくりに配慮しています。</li> <li>・子どもの食生活について、家庭と連携を取ることができるように、献立は毎月末に翌月の分を保護者に配付しています。給食のサンプルを玄関に展示し、保育参加の日に保護者が試食し、栄養や、味付け、食べ方など、園で配慮していることを伝えています。</li> <li>・眠れない子どもに静かに横になり体を休ませるように働きかけ、午睡時はカーテンを閉めて、照明を落とし、部屋を暗くして、子どもが安心して眠りにつけるようにしています。</li> <li>・乳幼児突然死症候群を防ぐために0歳児は5分、1、2歳児は10分、3歳児以降は15分おきに呼吸の確認を行ない、午睡チェック表に記載しています。</li> <li>・2歳児の年度初めの懇談会でトイレトレーニングについて、子どもの発達に合わせて進めていくことを保護者に話し、子どもの排泄の間隔、回数などを把握して、一人一人に対応しています。</li> <li>・長時間にわたる保育のため、子どもたちがくつろいで安心して、心地よく過ごせるように、少人数で遊べるように机を配置し、マットを敷いてコーナーを作っています。</li> <li>・各クラスに園児の名前が書かれた「保育メモ」が置かれ、送迎時に聞き取った子どもに関することを記載し、また保護者に伝えたいことを記載して引き継ぎを行ない、保護者に伝えた担当者は名前を書いて、伝え漏れを防いでいます。</li> </ul>
<p>Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理 【健康管理】 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康管理に関するマニュアルに基づいて子どもの健康状態を確認し、職員は情報を共有しています。入園時に提出してもらった健康診断票に予防接種や既往症について追記して、個別の健康児童台帳にファイルしています。</li> <li>・保育中に子どもの体調に変化があったときには、看護師が保護者に園での様子を伝え、必要な場合は受診を勧めています。</li> <li>・歯磨きは3歳児から始め、歯科医から歯磨き指導を受けています。</li> <li>・健康診断、歯科健診を年2回、尿検査（幼児クラス）を年1回実施しています。結果は個々の健康台帳に記録し、保護者にお知らせの手紙を配付して、看護師が保護者と連携を密にしています。毎月行う身体測定の結果は、家庭連絡カードに記載して保護者に知らせています。</li> <li>・感染症への対応に関するマニュアルがあり、重要事項説明書に登園停止基準「登園をひかえていただくとき」「感染症の出席停止基準」を明記し、保護者に入園説明会で説明しています。</li> <li>・保育中に発熱やひどい下痢、嘔吐、身体の調子の悪いときは、保護者に連絡をして速やかにお迎えをお願いし、お迎えまで事務室内の看護ベッドで休ませて、他児への感染を防ぐようにしています。</li> <li>・感染症が発生した場合は、玄関に病名、発生したクラスと人数を掲示しています。</li> </ul>
<p>Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理 【衛生管理】 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理のマニュアルがあり、看護師が中心となって、感染症対応研修、嘔吐処理研修を行っています。</li> <li>・マニュアルに基づき清掃専門の担当職員や他の職員により清掃が行われ、清掃チェック表でチェックし、保育園の内外は清潔・適切な環境に保たれています。年2回エアコンの清掃を行っています。エアコンの問題から起こる異臭の問題を解決するように努めています。</li> </ul>
<p>Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理 【安全管理】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理マニュアルがあり、睡眠中の呼吸チェックを行い、食事ではアレルギーを持つ子どもの配膳は専用のトレイを使用し、複数の職員で確認するなど対策を講じています。</li> <li>・棚は壁に固定し、ピアノには転倒防止策を講じ、棚の上には落下防止の滑り止めマットを敷いています。</li> </ul>




	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止マニュアルに基づき、事故や災害に適切に対応できるように、緊急連絡先をリスト化し事務室に掲示し、災害伝言ダイヤルを利用した緊急連絡体制が確立しています。</li> <li>・毎月地震や火災などの様々な想定で防災訓練を行っています。重要事項説明書に地震、火災、水害時のそれぞれの場合の避難時の避難経路について詳しく説明し、避難場所の小学校に子ども達は行っています。</li> <li>・事務室に緊急時の連絡先を掲示して、子どものケガは軽傷であっても昼礼で報告し、保護者にはお迎え時に担任が状況を必ず伝えていきます。受診が必要と思われるケガがあったときは、園長・主任と看護師で受診の必要性を話し合い、保護者の同意を受け、医療機関で受診するようにしています。受診した場合は「事故報告書」を作成し設置法人に報告しています。</li> <li>・事務所の入り口に「ヨクナル」という報告書を置き、職員はケガやヒアリハットなどが発生したときや気づいた時に記入するようにしています。発生場所や、時間帯、内容、結果と報告、改善内容など詳細に記入しています。看護師が、「ヨクナル通信」として毎月まとめ、内容、対応などを職員会議で報告し、再発防止策の検討が行われ、改善策が実行されています。「事故報告書」は昨年度 12 件ありましたが、今年度は 10 月現在で 1 件に減少しています。</li> <li>・外部からの侵入に対する対応策として、玄関ドアはオートロックになっており、送迎時には送迎カードを提示してもらっています。</li> <li>・不審者を想定した防犯訓練を行なっています。緊急通報体制が確立しています。</li> </ul>
<p>Ⅱ－3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は内部研修で子どもの人権研修を受け、園長から子どもに対しての言葉遣いや対応について話を聞き、職員会議や朝礼、昼礼で話し合っています。子どもをせかすことがないように、子どものペースを大事にして穏やかな言葉遣いで対応していますが、一部職員でできていないところがあります。</li> <li>・廊下や室内のコーナーの一角、一時保育室に子どもが友達や保育士の視線を意識せず過ごせる場所があり、職員は廊下や一時保育室で子どもと一対一で落ち着いた空間で話し合うことができます。</li> <li>・職員は個人情報の取り扱いについて理解しています。ボランティアや実習生にはオリエンテーションの際に説明しています。</li> <li>・個人情報マニュアルがあり、園長は職員に入職時に説明しています。</li> <li>・重要事項説明書に個人情報の取り扱いについて明記し、保護者が撮影する映像の取り扱いについてもプライバシーに配慮してほしいことを、あわせてお願いをしています。個人情報に関する記録は事務室の施錠できる棚に保管しています。</li> <li>・性差への先入観による役割分業意識を植え付けないように、職員は、遊び、持ち物、整列、順番などに、男女の固定観念を持った話し方や表現をしないようにしています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部職員に子どもへの対応で威圧的な言葉遣いやせかしたりする場面がみられるようです。子どもが自由にのびのびと落ち着いて過ごせるよう配慮が望まれます。</li> </ul>
<p>Ⅱ－4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園のパフレットや重要事項説明書に保育方針を記載し、年度初めの懇談会で保育方針について説明し、園目標を玄関に掲示しています</li> <li>・行事ごとの記述式アンケートで、保護者から園に対する意見・要望を聞き取っていますが、保護者が基本方針を理解しているかを把握できる内容になっていません。</li> <li>・園だよりや子育て支援、イベントを通して、園の保育の方針や保育園の思いなどを伝え、連絡帳でも園の考えを伝えるようにしています。</li> <li>・各クラスに園児の名前の入った保育メモがあり、その日の体調や生活などで気づいたことなどを記入して、保護者に伝えるようにしていますが、保護者の 35%が、送迎時の情報交換に対して不満足感を持っています。</li> <li>・年 2 回個人面談、クラス別保護者懇談会を行い、クラスごとの保育内容について説明し、参加できない保護者には詳細な懇談会記録を配付しています</li> <li>・保護者の相談は一時保育室を利用して行い、相談を受けた職員は、必要に応じて</li> </ul>

	<p>園長に相談し助言が受けられるようになっていきます。相談内容は個別面談記録に記載し、継続的にフォローができるようにしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月園だより、クラスだよりを発行し、定期的に保育の様子を写真に撮って掲示し、その日の様子をボードに書いて一日の生活の様子を伝えています。</li> <li>・年間行事表を4月に配付し、保護者の予定を立てやすいようにし、保育参加を年1回、保護者の都合の良い日程で来られるようにしています。</li> <li>・各クラスから代表が2名出る保護者会があり、クリスマス会でプレゼントの用意、全体のアルバム作成などがあり、要請があれば職員も参加します。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事ごとのアンケートで保護者の保育の基本方針に対する理解度を把握するように努めていますが、利用者家族アンケートでは園の基本理念・保育方針の認知度は約55%と低い水準にとどまっています。行事後や年度末などで、アンケートを実施する際に、保育の基本方針を保護者へ周知するとともに理解度を高めてもらう工夫が望まれます。</li> <li>・保護者アンケート結果において、送迎時の職員との情報交換への不満が35%と高くなっています。園児の様子は「保育メモ」で保護者に伝えています。個別に子どもの様子を伝えるさらなる工夫が望まれます。</li> </ul>
--	--


### 評価領域Ⅲ 地域支援機能



評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>Ⅲ－1</b> 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月実施している子育て支援イベントや講座などでの、地域の保護者や近隣住民との交流や参加者アンケート実施、高田地区の子育てネットワーク会議での議題などを通じて、保育所に対する要望を把握しています。</li> <li>・園長が高田地区子育てネットワーク会議に参加し、町内会、高田地区社会福祉協議会、幼稚園、保育園、小中学校などと連携し、情報共有や検討会を行っています。高田地域にある保育園の園長会を開催しており月1回、会議を開き、情報交換をしています。高田地区子育てネットワーク会議主催のイベント「たかたんこどもまつり」に職員が出向き、紙芝居や絵本の読み聞かせなど行っています。</li> <li>・4、5歳児クラスで一時保育を実施しています。地域の親子向けに身長・体重測定ができる日を設けており、多数の参加があります。毎月、地域の保護者や子どもに向けてイベントを行っています。「腰痛予防」「歯科講座」「肩こり講座」「親子ヨガ」などを開催しています。</li> </ul>
<p><b>Ⅲ－2</b> 保育所の専門性を生かした相談機能 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高田地区子育てネットワーク会議の「高田通信」や、地域の子育て情報誌、イベント情報のアプリケーションソフトを利用して園情報を掲載しています。高田ケアプラザ、NPO法人の地区支援拠点に園行事や子育て支援イベントのちらしを掲示しています。</li> <li>・関係機関との窓口は園長としています。</li> <li>・港北区の担当者、横浜市北部地域療育センター、横浜市北部児童相談所、横浜市総合リハビリテーションセンターと日常的に連携しています。年に一度、園の運営委員会に、地域の民生委員が出席しています。</li> <li>・育児相談は見学時や一時保育利用、イベントの際に受けていますが、曜日や時間を決めてはいません。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の保護者が育児相談しやすいように、受付時間や曜日を決め、さまざまな媒体などで相談できることを、地域の保護者に周知することが期待されます。</li> </ul>

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>Ⅳ－１</b> <b>保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所に対する理解促進のための取り組みとして、近隣の方を招待し、園長は高田地区子育てネットワーク会議に年３回参加し、地域ケアプラザで４、５歳児が歌を歌ったりし、地域の親子に身長体重測定や歯科健診に参加してもらっています。</li> <li>・散歩で高田公園、新吉田公園を使い、日吉ネットワーク主催の人形劇に参加し、近隣の保育園と年長児の交流会を年２、３回持ち、ドッジボール大会を行い、交流を図っています。</li> </ul>
<b>Ⅳ－２</b> <b>保育所における福祉サービスに関する情報提供</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園のパンフレットや設置法人のホームページで利用者が必要とする園の情報を提供し、地域の子育て情報誌に園の情報を提供し、掲載してもらっています。</li> <li>・ホームページ、重要事項説明書に福祉サービスの内容の詳細、料金、職員体制などの情報の明細が明記されています。見学時などに料金や職員体制などの情報提供を行っています。</li> <li>・保育園の基本方針や利用条件・保育内容について、パンフレットや重要事項説明書に基づいて説明しています。</li> <li>・ホームページにも見学できることを掲載し、利用希望者の問い合わせにはいつでも見学できることを伝え、見学は毎週木曜日午前中を案内し、園長が対応しています。都合のつかない場合は希望に合わせ対応しています。</li> </ul>
<b>Ⅳ－３</b> <b>ボランティア・実習の受け入れ</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・実習生受け入れマニュアルがあり、それに基づき園の方針、個人情報への配慮などを説明しています。</li> <li>・受け入れ担当は園長です。受け入れ時の記録は日誌に記載しています。港北区の子育て拠点どろっぷや港北区のボラリーグから中学生のボランティアを受け入れ、ボランティア終了後には感想や意見を聞き、今後に生かせるようにしていますが、受け入れの記録が整備されていません。</li> <li>・実習生受け入れに際してはオリエンテーションを行い、園の理念や保育方針を説明し、実習の目的に応じて、本人の希望も聞き、プログラムを決めています。実習は実習生の希望に合わせて行い、昨年は大学２年生が１名、今年度は見学実習を２０名が見学を行う予定です。実習生活動記録はありません。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・実習生の受け入れにあたっては、受け入れ時の記録を整備しておくことが望まれます。</li> </ul>




## 評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>Ⅴ－１</b> <b>職員の人材育成</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は園運営に必要な人材や配置状況を把握し、担任、役割分担を決めています。</li> <li>・設置法人策定の人材育成計画があり、その中に保育士として身に付けたい社会性、専門能力などが「新任保育士」「３年保育士(３～４年目)」「５年保育士」「１０年保育士」の段階に応じて明確に示されています。</li> <li>・外部研修受講、内部研修実施をしていますが、研修計画は策定していません。</li> <li>・「自己評価チェックリスト」を使って振り返る機会を作っていますが、職員個々の目標設定や振り返りは行っていません。</li> <li>・研修担当者が決まっており、毎月、常勤職員に向けて「アレルギー対応」「感染症対応」「危機管理」「園の方針の理解」「チーム力アップ」などのテーマを決めて内部研修を実施しています。非常勤職員は感染症対応やノロウイルス消毒手順などの説明を受けています。</li> <li>・横浜市主催、港北区主催、保育専門講師による外部研修に参加しています。本人の希望や学びたいテーマを尊重しています。研修に参加した職員は、研修報告書を作成し、ほかの職員が閲覧できるようになっています。職員会議、昼礼、担当者会議で、研修内容の報告をしています。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務に関するマニュアルは非常勤職員にも配付しています。非常勤職員の指導担当は、主任やクラス担当職員と連携しながら、園長が担っています。常日頃から主任、クラス担当職員が、非常勤職員と常勤職員間のコミュニケーションが図れるよう気を配っています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資質向上に向け、体系的な研修計画作成および個々の目標設定と振り返りが期待されます。</li> </ul>
<b>V-2</b> <b>職員の技術の向上</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は年2回園長と面談し、状況の確認や今後の見通しなど話し合っています。また「自己評価チェックリスト」を使って、評価反省を行っています。年度末に園全体の自己評価を実施し、結果を玄関に掲示しています。</li> <li>・年度末の園の自己評価をまとめる際に次年度に向け課題を明確にしています。園内研修や担当者会議で、保育の質の向上に向け、改善点や工夫事項を話し合っています。横浜市主催、港北区主催の外部研修や、高田地区子育てネットワーク会議で得た情報を職員間で共有しています。</li> <li>・横浜市総合リハビリテーションセンターの巡回相談で関わり方などの助言を受けています。保育の専門家に園に来てもらい、「わらべうた」「手作りおもちゃ」の講習とともに指導をしてもらいました。</li> <li>・年間、月間指導計画、週案、保健指導計画、保育日誌が定型化され、それぞれ「評価・反省」欄が設けられています。子どもの意欲や取り組む姿、過程を職員会議(カリキュラム会議、ケース会議含む)、乳児(0~2歳児)会議・幼児(3~5歳児)会議、昼礼などで確認しながら、振り返りを行っています。月案は2か月分、週案は1か月分、保育日誌は1週間分を1枚に記録する書式となっており、経過を確認できるようにしています。</li> <li>・各指導計画の反省など自己評価の結果をクラス担当職員間や、各会議、昼礼などで報告および意見交換をし、改善に向けて課題を抽出しています。</li> <li>・年に1回行う園の自己評価は、保育理念、保育方針、全体的な計画に沿って行われています。年に1回保護者アンケートを実施し、まとめた内容は園内に掲示しています。園の自己評価結果は、園内に掲示しています。保護者へのアンケート結果や、園の自己評価結果を次年度の各指導計画や、行事、各担当部活動内容などに反映しています。</li> </ul>
<b>V-3</b> <b>職員のモチベーションの維持</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人としての、経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として「人材育成計画」の中に明文化されています。</li> <li>・園長は、保育や日常業務に関する意見や提案を、各会議、年2回の個人面談、日常会話の中で把握し改善策を検討・実施しています。</li> <li>・園長が不在の場合は主任を中心に、現場にいる職員に可能な限り、権限を委譲しています。クラス運営、行事担当、各担当(子育て支援、研修、避難訓練など)、職員同士で協力し合い、業務にあたっています。</li> <li>・園長は年2回、および必要に応じて個別に面談を行い、職員の満足度、要望を確認しています。職員が意欲を持って業務にあたれるよう、助言などをしています。</li> <li>・明確な人事基準が定められておらず、職員に周知していません。また自己査定は行っていません。職員の専門性や職務追行能力、職務に関する成果や貢献度などを評価する仕組みはありません。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員にとって自分の目指す方向と能力開発が分かるような、人事考課・給与ランクやキャリアパスに連動された仕組みの策定が期待されます。</li> </ul>

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<b>VI-1</b> <b>経営における社会的責任</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織及び職員が守るべき法・倫理・規範などは就業規則と「あい保育園高田東マニュアル」に明記しています。「あい保育園高田東マニュアル」は職員が所持しており、会議、打ち合わせ時には必ず持参し、参照することになっています。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市や港北区の園長会議、設置法人会議、ニュースなどの報道から得た、職員による不正や不適切事例は各会議や昼礼で全職員に報告し、不祥事防止の啓発をしています。</li> <li>・保育所における事務、経理、取引などに関するルールは「経理規程」「あい保育園高田東マニュアル」に明記しています。職務分担と権限・責任が明記された一覧表があります。毎月の経理、取引、経費引き落とし、精算などは月ごとに報告し、設置法人担当部署がコンピュータ管理しています。</li> <li>・年に 2 回、内部監査があります。園では、月の現金使用上限額を超えそうな場合は、購入時期をずらすなどしています。</li> <li>・ごみ分別をしています。牛乳パック、ペットボトル、ティッシュペーパーの箱などの廃材を使って、手作りおもちゃや製作に利用し、ごみの減量化、リサイクルを行っています。節電を心がけ、保育室・廊下など未使用時は消灯しています。節水については、子どもの手洗い、うがいの時も不必要に水を流しっぱなしにしないよう伝えていきます。数々の取り組みがありますが、環境への考え方、取り組みについては明文化されていません。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境配慮の考え方や、運営に生かされている様々な取り組みについての明文化が期待されます。</li> </ul>
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保育理念」「保育目標」「保育方針」を「重要事項説明書」「全体的な計画」「あい保育園高田東マニュアル」に明文化し、全職員に配付しています。「保育理念」「保育方針」「全体的な計画」が園内に掲示してあります。</li> <li>・会議、昼礼時に「あい保育園高田東マニュアル」を持参することになっています。園長が折りに触れ、保育理念や保育方針に絡めた話をするほか、職員が定期的に「あい保育園高田東マニュアル」をチェックすることになっています。園長は年 2 回個人面談時に確認するほか、主任、担当（園内設置の部会）者リーダーと連携し、日常の保育の中で職員と子どもの関わり方などが、保育理念や保育方針に沿っているかを確認しています。</li> <li>・主任クラスを計画的に育成するプログラムとして、主任クラスの職員は設置法人主催および外部の主任研修を受講しています。</li> <li>・主任は、各会議や昼礼で、個々の職員の業務状況を把握しています。また個々の職員の能力や経験にあわせた助言や指導を行っています。園長と連携し、シフト編成（シフトは園長作成）に基づいて日々の勤務シフトを管理しています。個々の職員の勤務状況を把握したり、相談事にのるなどして、精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう配慮しています。</li> <li>・重要な意思決定について、保護者の意見を聞く機会がありますが、継続的な話し合いや、前もって、保護者が十分に理解できるような説明に至っていません。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な意思決定について、趣旨や目的、経過などを保護者に十分理解してもらえるように、丁寧に説明したり継続的な説明会の開催などが期待されます。</li> </ul>
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営に影響のある情報の収集と分析は設置法人が行っています。園では園長が、関係機関、行政、設置法人会議、保育の専門雑誌、新聞・ニュースなどから保育に関する情報を収集しています。</li> <li>・重要な情報は、職員会議、担当者会議、昼礼で周知し、改善課題として話し合っています。重要な改善課題について保育所全体で取り組んでいます。</li> <li>・2019～2022 年度を期間とした、中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成しています。園としての、単年度ごとの事業計画は策定されていません。</li> <li>・計画的な後継者育成は、園の担当各部のリーダーをまかせるなどしています。設置法人の主任会議、主任研修会、研究発表会などでも後継者を育成しています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期計画に基づいた、単年度ごとの計画を策定し、定期的な進捗状況確認の機会を持つことが期待されます。</li> </ul>

# 利用者家族アンケート

事業所名: あい保育園高田東

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## 結果の特徴

### ◇ 調査対象

調査時点での在園児数88名、全保護者68家族を対象とし、回答は43家族からあり、回収率は63%でした。

### ◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

### ◇ 総合満足度

肯定的な回答は84%(満足26%、どちらかといえば満足58%)と高い評価を得ており、否定的な回答は16%(どちらかといえば不満9%、不満7%)でした。

### ◇ 比較的満足度の高い項目(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が90%以上の項目)

- 1)『入園した時の状況』の中の「園での1日の過ごし方についての説明」・・・93%
- 2)『遊び』の中の「活動や遊びに子どもが満足しているか」・・・95%
- 3)『遊び』の中の「遊びを通じた友だちや保育士との関り」.....91%
- 4)『生活』の中の「給食の献立内容」.....96%
- 5)『生活』の中の「基本的習慣の自立への取組」.....94%
- 6)『生活』の中の「昼寝や休憩が子どもの状況に応じて対応」.....93%
- 7)『生活』の中の「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供」.....90%
- 8)『職員の対応』の中の「子どもが「保育園生活を楽しんでいるか」.....94%

### ◇ 比較的満足度の低い項目(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計が20%以上の項目)

- 1)『生活』の中の「保育中のケガに関する保護者への説明や対応」.....23%
- 2)『保育園の快適さや安全対策』の中の「施設設備については」.....23%
- 3)『保育園の快適さや安全対策』の中の「外部からの不審者侵入対策については」.....35%
- 4)『園と保護者との連携交流』の中の「園の行事の開催日などへの配慮」「保護者からの相談事対応」...21%
- 5)『園と保護者との連携交流』の中の「送り迎えの際の子どもの様子に関する説明については」...35%
- 6)『園と保護者との連携交流』の中の「子どもに関する重要な情報の連絡体制については」...28%



## 調査結果

### ■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
%	5	50	21	19	0	5



問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

#### 付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
%	44	52	0	0	0	4

### ■施設のサービス内容について

#### 問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	33	33	0	5	29	0
	その他: 見学してない。					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	28	58	5	0	9	0
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	28	58	7	5	2	0
	その他:					
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	40	48	5	5	0	2
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	33	60	0	7	0	0
	その他:					
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	42	40	9	9	0	0
	その他:					

#### 問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	28	56	14	2	0	0
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	21	58	12	7	2	0
	その他:					

#### 問4 日常の保育内容について

遊びについて		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	%	37	58	5	0	0	0
その他:							
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	%	30	54	16	0	0	0
その他:							
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	%	33	53	14	0	0	0
その他:							
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	%	26	53	19	0	2	0
その他:分からない							
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	%	28	63	9	0	0	0
その他:							
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	%	26	60	14	0	0	0
その他:							

生活について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	%	40	56	2	2	0	0
その他:							
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	%	40	42	7	2	9	0
その他:							
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	%	47	47	6	0	0	0
その他:							
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	%	44	49	7	0	0	0
その他:							
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	%	38	30	16	0	16	0
その他:まだ、始めていない。おむつが外れてから入園した。							
お子さんの体調への気配りについては	%	35	51	14	0	0	0
その他:							
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	%	28	47	14	9	2	0
その他:							

### 問5 保育園の快適さや安全対策について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	%	26	51	16	7	0	0
	その他:						
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	%	35	46	12	7	0	0
	その他:						
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	%	26	39	26	9	0	0
	その他:						
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	%	40	50	5	5	0	0
	その他:						

### 問6 園と保護者との連携・交流について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	%	30	57	9	2	2	0
	その他:						
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	%	33	49	16	2	0	0
	その他:						
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	%	26	53	21	0	0	0
	その他:						
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	%	39	26	26	9	0	0
	その他:						
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	%	33	34	14	14	5	0
	その他:						
保護者からの相談事への対応には	%	37	42	12	9	0	0
	その他:						
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	%	40	46	0	2	12	0
	その他:						

**問7 職員の対応について**

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては %	42	46	7	5	0	0
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては %	47	47	6	0	0	0
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については %	26	48	0	0	26	0
	その他:アレルギーがない。分からない					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては %	49	33	16	0	2	0
	その他:					
意見や要望への対応については %	37	39	19	5	0	0
	その他:					

**問8 保育園の総合的評価**

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は %	26	58	9	7	0

# 観察方式による利用者本人調査

令和元年 10 月 16 日

10 月 24 日

事業所名：あい保育園高田東

## 【0 歳児】

### <午前室内遊び>

マットの上で、大型ブロックやぬいぐるみ、車、軽いボール、手作りおもちゃなどで遊んでいます。設置型大型モビール遊具や、乗り物のおもちゃなどもあり、子どもが好きな物のところに行ったり、保育士と一緒に、遊んだりしています。保育士の膝の上で、絵本を読んでもらっている子もいます。

### <食事前の手洗い>

活動の場所と、食事の場所は低い仕切りで区切られています。2 人ずつ、保育士と一緒に、手を洗います。「手を洗います。長袖のお友達は、腕まくりをしてね」「腕まくりって、こうだよ」と保育士がやって見せると、子どもも、マネをして袖を上げています。「きれいに洗おうね」と子どものそばに付いています。手を拭いた紙タオルは自分でごみ箱に捨てています。手を洗い終わった子から順番に、食卓につきます。

### <食事>

全員席につくと、保育士が本を読みます。その間に他の保育士が、一人一人トレイに載せられた食事を、配膳しています。本を読み終わると、子ども一人一人の名前を呼びます。「○ちゃん」「△ちゃん」名前を呼ばれた子は、手を上げたり、「あーい」と声を出したりしています。「上手、上手。みんな手を上げるの上手だね。すばらしい」と言われると、友達が呼ばれても、手を上げる子が何人もいます。食事はスプーンを使っていますが、手づかみになっても、注意したり、やめされたりはしていません。トレイの中に、伏せてある食器を子どもが手元に持ってくると「何もはいつてないね。お茶を入れようね」と保育士がお茶を入れていきます。

### <午睡>

午睡のスペースは薄暗くなっています。保育室入り口付近の照明は小さくついており、子どもの様子も把握しやすいようにしています。ぐずったり、寝付けない子は、抱っこしたり、背中をトントンしたりしています。

### <午後おやつ>

順番に手を洗ってから席について、全員がテーブルについてから、「いただきます」をします。今日は「誕生会」なので、おやつはケーキです。あらかじめ、配膳前に保育士が、ケーキを食べやすいように、小さく切っています。スプーンが添えられていますが、手づかみでぱくっと口に入れ、にこにこしています。

### <午後 室内遊び> 音楽に合わせて身体を動かす

軽快な音楽に合わせて、保育士と一緒に、身体を動かしたり、ジャンプしたりしています。保育士が「今度は、こうだよ。足を上げるよ」「足上げて～」と話しかけながら、やって見せています。保育士の動きをまねたり、自分のリズムで身体を揺すったりしています。「上手だね～。足も高くあがったね」と言われると、嬉しそうです。

## 【1歳児】

### <午前室内遊び>

調査員が保育室に入ると、遊んでいた子たちが、一斉に不思議そうな顔をしています。保育士が、「ご挨拶に行ってみる？」と声かけすると、保育士と一緒に何人かが、近くに来てくれました。恥ずかしそうな子や、保育士と一緒にどこにこしている子や、おもちゃを得意げに見せてくれる子もいます。ブロックやままごと、絵本、車、人形など、それぞれ、好きなもので遊んでいます。積み木を高く積み上げるのに熱中している子もいます。自分の背より高くなり、皆から「すごいね。高いね。どこまで高くなるんだろう」と言われて、さらに挑戦しています。手が届かないようで保育士の方を見ると「届かないね、抱っこしよう」と抱っこしてもらい、上に積み上げました。うれしそうです。

友達が使っているおもちゃを、使いたくなった子と取り合いになると「Aちゃんが今使っているし、一生懸命作っているからね。貸してって言うてみようか」「一緒にやってもいいか、聞いてみようか」など保育士が声かけしています。

### <排泄>

数人ずつ、トイレに行っています。おむつやズボンの着脱は、子どもが自分でしています。「上手にできたね」「こっちの足から」など保育士が声かけしています。多少時間がかかってもせかすことなく、見守っています。時々子どもが手の届かないズボンの後ろを、引き上げるのを手伝ったりしています。おしりふきシートや、ビニール手袋（個人持ちのようです）は、自分で、ロッカーにしまっています。

### <午睡>

皆で、「おやすみなさい」と挨拶をして、午睡のスペースに向かいます。部屋のカーテンはすでにしまっています。部屋の照明も消されます。すぐに横にな

る子や、少し歩き回る子、保育士にだっこしてもらう子など色々ですが、しばらくすると、落ち着いた様子で、自分の布団に横になっています。

#### <午後おやつ>

手を洗った子どもから、席についています。食物アレルギーのある子は、皆から少し離れて個別の机を置き、トレイにお皿が載せてあります。そばに、保育士が付いています。

### 【2歳児】

#### <活動> 専門講師によるリトミック

講師が歌いながら、子ども一人一人の名前を呼んでいきます。「はい」と元気よく手を上げる子や、恥ずかしそうな子など、さまざまです。お休みの子の時は、皆で「きょうはおやすみです」と言っています。講師が「2人一組になって、大きな輪を使います。輪を持って最初はクルクル揺すってから、パッと手を放すよ」と説明しますが、輪の中に入って見たり、2人で引っ張り合ったり、好奇心旺盛です。音楽が始まると、揺すったり、手を放したりしますが、2人同時に手を放すのが難しいようです。「今度は持ったまま少し歩いてみよう」「今度は輪の中に入るよ、お風呂みたいに2人で一緒にはいるよ」と違う動きを教えてください。動きによって、音楽も違います。講師の「クルクル」「歩いて～」の声と、音楽を聞いて、あわてて動きを変えたり、笑いあったり、一生懸命2人で合わせています。保育士の膝にのって、友達がやっているのを見ている子や、輪を使って違う遊びをしている子もいますが、無理に参加を促したりはしていません。

#### <排泄・着替え> 午睡前の着替え時に

トイレ入り口近くにシートが敷いてあります。シートの上で午睡前に着替えをしますが、そのタイミングでトイレに行っています。着替えの入った袋をシートに置き、数人ずつトイレに行きます。保育士が声かけしたり、様子を見守っています。パンツや紙おむつを自分ではき、ズボンやシャツも、ほとんど自分でできているようです。着替えた衣類は自分で袋にいれ、ロッカーにしまっています。紙おむつは自分でごみ箱に捨てています。

#### <午睡>

保育士に本を読んでもらってから、全員で「おやすみなさい」の挨拶の後、自分の布団の場所に行きます。子どもが何人も「走らないように」「走らないでね」と言い合っています。はじめは、歩き回ったり、自分のかけ布団をきれいに直したり、位置を少し変えたり、寝心地を見ながら布団をずらしたり、友達と話をしたり、ざわざわした雰囲気ですが、カーテンが引かれて薄暗くなり、保育士におなかや背中を撫でられたりして、次第に眠りにつきます。

### 【3 歳児】

#### <活動> リトミック

保育室の壁に子どもたちが 1 列に並んでいます。リトミックの講師が前に立って、「4 人ずつ列車になってね。ピアノに合わせて歩き、高い音が聞こえたら後ろに回ってね」と説明しています。

音楽に合わせて子どもたちが歩き回り、高い音が聞こえると、保育士に手伝ってもらって、一番前の子どもが後ろに回っています。列が乱れ、後ろに着くのが難しそうでしたが、楽しそうにやっていました。

#### <排泄>

プログラムの区切りで子どもたちはトイレに行っています。廊下に一列になり、順番に、上履きを脱ぐ場所で脱いで、トイレに行って、終わった子から廊下に並んでいました。

#### <食事前>

お当番さん 2 人が、エプロンをつけ、頭に三角巾をつけて食事の配膳を手伝っています。

ご飯、お汁とさかなと野菜のお皿を一つずつ テーブルに運んでいます。配膳が終わると、保育士が子どもたちに、今日のおかずに入っている食材を聞いています。「パブリカ」「白菜、ニンジン、ダイコン」などとおかずを見て、言っています。ニンジンは体を作るものだよと説明しながら、ニンジンの絵が描かれたカードを三食表に貼っています。

### 【4 歳児】

#### <遊び>

子どもたちが壁に一列になって座っています。保育士が前に座って、子どもたちに明日の散歩で行きたいところを一人一人に順番に聞いています。子どもは「なかよし公園、ライオン公園、第 5 公園」とそれぞれに行きたいところを言っています。みんなの意見が多かったライオン公園に決まりました。

### 【4、5 歳児】

#### <午前室内遊び>

部屋に塗り絵、ブロック、積み木のコーナーが用意されています。保育士の手作りの玉転がしゲーム機に 4、5 人の子どもたちが集まって、順番に遊んでいます。積み木を高く積み上げている子どもたちは、保育士に抱っこしてもらい、子どもたちの背より高く積み上げていました。ブロックで大きなお家を友だちと協力して作っている子どもたちもいます。



## <食事>

4、5歳児の部屋の仕切りを外し、一緒に食事です。保育士が、「手はおひぎ、お口はチャック」とみんなに声をかけています。保育士がごはん、汁物を盛りつけ、4歳児、5歳児の当番さんが食事を配膳しています。一つずつ子どもたちの前に配っています。

配膳が終わると、前に当番さんが立ち、保育士のひくピアノに合わせて給食の歌を歌い、食事の挨拶をして食事が始まりました。

いつもは嫌いなものは減らしてもらえるのですが、今日は「みんな食べられる？」ときいて子どもたちが「うん、大丈夫」と返事をして、配膳されたおかずを全部食べることになりました。さわらのみそ焼き、野菜のサラダ、スープをどの子もおいしそうに食べていました

ゆっくり食べる子、すぐに食べ終わる子と自分のペースで食べています。

## 事業者意見

あい保育園高田東  
園長 守屋 厚

### <受審の動機>

平成 26 年 4 月に開園し、6 年目となり会社として第三者評価を受ける事が決まっていたため、受審となりました。

まだまだやるべき事は多く、課題の解決に向けて取り組んでいる最中でした。受審することにより、運営についての方向性の確認、保護者の意向などを知る良いきっかけとなると考え受審しました。

### <受審した結果>

今回の評価により、自園での保育を見直し、更により良い物にしていこうという気持ちを職員間で持つことができることは、本当に良かったです。

なお、保護者の園に対する評価は反省すべき点もあり今後の課題となっています。

課題は、保護者理解や取り組みの中への保護者参加となっています。今後どういった関わりを保護者ともっていくか、職員間で話し合い解決していこうと考えています。

今回の受審では、頂いた評価・ご意見を伺い、私たちの保育の励みになりましたことを感謝しています。

第三者評価を受けるにあたって、ご尽力いただいた評価機関の皆様と、ご多忙な中ご協力いただいた保護者のみなさまにも、心より感謝申し上げます。